

予算特別委員会 教育民生分科会 記録

開 会 年 月 日	令和 2 年 3 月 10 日		
開 会 時 刻	午前 9 時 58 分		
散 会 時 刻	午前 10 時 27 分		
出 席 委 員 名	◎福井輝夫 ○吉井詩子 中村 功 上村和生		
	北村 勝 野崎隆太 吉岡勝裕		
	世古 明 議長		
欠 席 委 員 名	中山裕司		
署 名 者	中村 功 上村和生		
担 当 書 記	野村格也		
審 査 案 件	議案第 2 号	令和 2 年度伊勢市一般会計予算中 教育民生分科 会関係分	
	議案第 3 号	令和 2 年度伊勢市国民健康保険特別会計予算	
	議案第 4 号	令和 2 年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算	
	議案第 5 号	令和 2 年度伊勢市介護保険特別会計予算	
	議案第 9 号	令和 2 年度伊勢市病院事業会計予算	
説 明 員	市長 副市長 ほか関係参与		

審査経過

福井会長が開議を宣告し、会議成立宣言の後、会議録署名者に中村委員、上村委員を指名した。その後直ちに会議に入り、「議案第2号 令和2年度伊勢市一般会計予算」中、教育民生分科会関係分、外4件を議題とし、特別会計から審査を再開し、付託案件すべての審査を終わり、暫時休憩の後、会長報告文については正副会長に一任することで決定し、散会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開議 午前9時58分

◎福井輝夫会長

ただいまから予算特別委員会教育民生分科会の継続会議を開きます。

出席者は7名でありますので、会議は成立いたしております。

会議録署名者は当初決定のとおりです。

審査に入る前に学校教育部長から発言の申し出がありますので、許可いたしたいと思えます。

学校教育部長。

●植村学校教育部長

お時間を取っていただきましてありがとうございます。昨日の予算特別委員会の中で、上村委員からの中学校共同調理場の調理配送業務委託契約について、年間契約ということで回答いたしました。債務負担行為をいただき平成29年8月1日から令和4年7月31日までの5年契約となっておりましたので、訂正させていただきます。非常に申し訳ございませんでした。以上でございます。

◎福井輝夫会長

それでは、特別会計の審査から開始いたします。

203ページをお開きください。「議案第3号 令和2年度伊勢市国民健康保険特別会計予算」を御審査願います。この議案の審査については一括で御審査願います。

☆議案第3号 令和2年度伊勢市国民健康保険特別会計予算 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、議案第3号の審査を終わります。

次に、259ページをお開きください。「議案第4号 令和2年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算」を御審査願います。この議案の審査についても一括で御審査願います。

☆議案第4号 令和2年度伊勢市後期高齢者医療特別会計予算 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、議案第4号の審査を終わります。

次に、285ページをお開きください。「議案第5号 令和2年度伊勢市介護保険特別会計予算」を御審査願います。この議案の審査についても一括で御審査願います。

☆議案第5号 令和2年度伊勢市介護保険特別会計予算

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。

吉井副会長。

○吉井詩子副会長

おはようございます。私は今回この介護保険の会計について御質問申し上げます。昨年は介護保険のこの会計は予算で139億ということでしたが、今年は当初予算144億余りあります。

介護保険に関しましては、自立と尊厳の保持という理念を根底に必要な方に必要なサービスを適正に受けていただくということが基本になっております。やはり、どんどんと予算もふえてまいりますので、介護の状態にならないようにできるだけするという予防が今後大事になってくると思います。

そこで、307ページの地域支援事業の地域介護予防活動支援事業についてお聞きしたいと思います。昨年から大幅減となっておりますが、やはりこれは、昨年は移動支援の付添い支援の関係で車を準備するとかそういうこともあったのかと思うのですが、この付添い支援サービス、通いの場を基本としてそこへ送り迎えができるような形にというようなサービスだと思うんですが、これを今年度やってみてその現状と課題についてどのように認識されておられるのかお聞きしたいと思います。

◎福井輝夫会長

高齢者支援課長。

●小林高齢者支援課長

付添い支援サービスのほうは、地域の支え合い活動の推進を目的に行ってまいりました。1年間いろいろ地域のほうへ聞かせていただいて検討を進めてまいったんですけども、やはり地域によって取組もしてみえるところもあるんですけども、やはり実情が様々であり、その実情に合った制度をつくっていくことが課題であると感じております。

◎福井輝夫会長

吉井副会長。

○吉井詩子副会長

本当に担当の方が地域に熱心に出向いて行かれて御苦労されているということを認識し

ております。やはりその中で、結局難しいのは地域の方が交通を支えるということで、事故があった場合どうするのかとかそういう点がネックになってくると思うんですが、その辺を解決って100%解決は難しいと思うんですが、何か来年度の予算に向けてちょっとでも改善しようとするような、そういうふうなお考えはありますでしょうか。

◎福井輝夫会長

高齢者支援課長。

●小林高齢者支援課長

車両に関する保険料の補助をさせていただいております。去年は少し少額であったんですけども、車両全体の法定人員に保険を掛けるということが必要となってきましたので、その分予算を増額させていただきました。

◎福井輝夫会長

吉井副会長。

○吉井詩子副会長

わかりました。そういう保険の面で少し前進をしてくださったということで理解をいたしたいと思います。しかし、基本的に自分の任意保険というものを使わないといかんというところがやはり住民さんの理解をいただく点でハードルが高い点になってくるのかなと思います。こういう移動支援の事業は100%という形はないと思いますので、今後もしろいろと見直しとかしていかれるとは思いますが、例えば集いの場にこだわらないようなやり方でありますとか、いろんな可能性というものを考えていただかないかんようになってくるかなと思うんですが、その辺いかがでしょうか。

◎福井輝夫会長

高齢者支援課長。

●小林高齢者支援課長

集いの場以外でも地域では生活支援のサービスを互助的に行っていただいておりますので、そういうようなところが御利用いただけるような、そこへ補助をしていくような制度の見直しを来年度、分析、調査、アンケート等を行い、やっていきたいと考えております。

◎福井輝夫会長

吉井副会長。

○吉井詩子副会長

わかりました。これはニーズは必ずあるものでございますので、また来年度も1年かけてその次に向けていい形をつくっていただきたいと思います。

次に認知症の施策の事業についてお聞きしたいのですが、これは来年度増額をしてもらっております。地域包括支援センターもふえるということで、推進員の方もふえるというかきちんと置いてくださるというふうに理解をしております。その中でサポーター養成事業でサポーターステップアップ講座というものがあってマッチングもされるということなんですが、これはチームオレンジの事業を本格的に行うという理解でよろしいでしょうか。

◎福井輝夫会長

高齢者支援課長。

●小林高齢者支援課長

平成31年度、マッチングを行う認知症の方を地域で支えるというようなチームを4チームつくることができました。引き続きそのようなチームをふやして取り組んでいきたいと思っております。

◎福井輝夫会長

吉井副会長。

○吉井詩子副会長

よろしくお願いいたします。それでステップアップ講座をされるということです。ちょっと話は横にそれるようなことになるんですが、成年後見のサポートセンターが去年の7月から開始をされまして、新規の相談で7月から1月までで86件あると聞いております。

また、法人後見の後見支援員の方が7名できたというふうに聞いております。これは日常生活自立支援事業のほうで講座を受けた方がそういうお手伝いをしてくれることになっていると思うんですが、やはりそういう講座と認知症のサポーターのステップアップ講座と何かリンクさせていくとかそういうふうにして、どちらにもやってもらえるような形のそういうことは考えられないでしょうか。

◎福井輝夫会長

高齢者支援課長。

●小林高齢者支援課長

御提案いただきありがとうございます。認知症サポーターの講座は日常生活権利擁護の方にも受けてはいただいておりますけれども、もう一段階進んだステップアップにも入っていただけるような、そういうような取組を成年後見サポートセンターのほうと協働して考えていきたいと思っております。

◎福井輝夫会長

吉井副会長。

○吉井詩子副会長

ありがとうございます。

◎福井輝夫会長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に発言もないようでありますので、議案第5号の審査を終わります。

次に、特別会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【特別会計の自由討議】 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、企業会計の審査に入ります。

377ページをお開きください。「議案第9号 令和2年度伊勢市病院事業会計予算」を御審査願います。この議案の審査についても一括で御審査願います。

☆議案第9号 令和2年度伊勢市病院事業会計予算

◎福井輝夫会長

御発言はありませんか。

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

それでは病院経営につきまして、少しお尋ねをさせていただきたいと思います。先日の教育民生委員会でもこの令和元年度の経営状況につきまして御報告をいただいております。まずまずの数字を出していただいておりますというふうには思っておりますけれども、その中で来年度の予算ということで幾つかお尋ねをさせていただきたいと思います。

会計の数字を見させていただきますと、医業収益が60億9,700万円、また医業費用が75億3,800万円、純損失のほうは4億3,800万円ということで、今の数字が財政収支計画の数字でございますけれども、その中でこの予算のほうは税込みとなっておりますので税抜きに計算をしますと、医業収益のほうは62億9,027万円、財政収支計画と比較をしてみると1億9,327万円の増額と、また医業費用につきましては77億2,598万円となり1億8,798万円の増と、そして純損失につきましては3億4,568万円ということですので約9,000万円ほど赤字部分が改善しているのかなというふうな会計の予算になっているかと思います。その財政収支計画との差につきまして、理由を少しお聞かせいただけたらと存じます。

◎福井輝夫会長

経営企画課副参事。

●西井経営企画課副参事

財政収支計画と比較をいたしまして医業収益、医業費用、増加している要因でございます。まず、医業収益でございますが、入院収益では前年度の実績に基づく診療単価の増加、また、より一層のリハビリの充実に伴う収入で1億9,815万1,000円の増加が要因となっております。

一方、医業費用でございますが、給与費ではリハビリ及び看護体制の充実に伴う職員数の増加、また時間外勤務手当の増加、それと会計年度任用職員制度等で給与費では1億4,157万6,000円の増加となっております。また、経費のほうでは医療機器をより安全に稼働していく必要が生じてきたため、それに関連する委託費等で経費全体では9,160万2,000円の増加となっております。また、減価償却費につきましては減少ということで6,409万9,000円の減少となっております。これが医業費用の増加の要因となっております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

ありがとうございます。いろいろと理由についてお聞かせをいただきました。数字のほうはまずまずかなと思っていますので、しっかりとした経営をお願いしたいと思いますけれども、その中で入院患者数について少しお尋ねをしたいと思います。令和元年度の2号補正についてに少し触れますけれども、9万3,330人のところ8万8,096人と予定よりも5,234人も減となってきております。令和2年度の予算につきましては、この財政収支計画の数字にもありますように9万3,075人となっておりますけれども、その辺は達成する見込みというのはあるのかどうか、その辺は教えていただけますでしょうか。

◎福井輝夫会長

経営企画課副参事。

●西井経営企画課副参事

令和2年度の予算の患者数の達成の見込みにつきましては、現在令和2年2月末時点での入院患者数、1日当たりでございますけれども241人となっております。これにつきましては、年度当初4月から患者数が比較的低調であったということが原因ではあると思います。その中で、令和元年11月には1日当たりの平均入院患者数につきましては255.8人と財政収支計画を超えておりますし、また12月につきましては250.1人、令和2年1月では244.2人、2月、これは直近の速報値にはなりますけれども247.6人と、少しずつ改善のほうをしてきておりますので、令和2年度当初予算の1日平均入院患者数255人というものにつきましては達成可能な患者数であると考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

ありがとうございます。ぜひ達成できるように努力をお願いしていきたいと思います。また、その中で先日も少しお尋ねをしたんですけれども、地域包括ケア病床のほうが少しまだまだ病床利用率もまだ課題があるということでいろいろ先日もお答えをいただきました。急性期からの移動が少ないのか、また、地域からの受入れが少ないのか、その辺の理由と、あと令和2年度どういったところに重点的に取り組んでいくのか教えていただけますでしょうか。

◎福井輝夫会長

経営企画課副参事。

●西井経営企画課副参事

まず、地域包括ケア病床の入院患者数の減少でございます。こちらのほうにつきましては、やはり急性期からの転棟、院内での運用に課題があるというふうに考えております。来年度、令和2年度につきましては、特に院内でのより効率的な運用と、あとは地域からの受入れ、この2点につきましては病棟の開設目的の一つでもあります在宅からの受入れ、この2点につきまして力を入れていきたいというふうに考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

わかりました。ありがとうございます。二つの課題をお話しいただきましたけれども、特に在宅のほうから受入れというのは、やっぱり地域の診療所から入院患者のほうを受入れという形になってこようかと思っておりますけれども、ぜひいろんなところの紹介をしていただいて、ぜひそういった努力もお願いをしていきたいと思います。

あと最後に、医師数、また看護師の確保の取組について少しお尋ねをしたいと思います。今年度の予算書を見せていただきますと、平成31年2月では医師が48人、それが令和2年2月では52人と4人増、また看護師につきましては平成31年2月が206人のところが令和2年2月では223人と、そういった形で確保をしていただいております。

令和2年度、まだ不足している、来ていただきたい先生のところもあると思っておりますけれども、その辺の努力の取組、また意気込みについてお聞かせをいただきたいと思います。

◎福井輝夫会長

経営企画課長。

●奥田経営企画課長

医師、看護師等の確保の取組でございますが、まず、常勤の医師につきましては、三重大学、藤田医科大学を始め、これまで医師派遣をいただいております大学等へ訪問し派遣の御依頼をさせていただいておりますところでございます。

また、必要な診療科ということでございますけれども、常勤医が不在または不足する診療科となります。具体的には、昼間の時間内の救急の充実ということで内科系医師を中心に婦人科、ホスピス科の獲得に向けて努めていきたいというふうに考えております。以上です。

◎福井輝夫会長

吉岡委員。

○吉岡勝裕委員

わかりました。ありがとうございます。なかなかお医者さんに来ていただくのはいろいろと努力も必要かと思っておりますけれども、ぜひ大学のほうと連携を密にさせていただき、足も運んでいただきながら努力のほうをお願いしたいと思っております。

この会計を見せていただきましても、どうしても基準外繰入れにも頼った経営となっております。この病院経営につきましては、建設費用等もいろいろ課題もあるとは思いますが、しっかりとした経営のほうに努力をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。以上で終わります。

◎福井輝夫会長

他に御発言はありませんか。

野崎委員。

○野崎隆太委員

私もここで数点だけお伺いをさせていただければと思います。企業会計ですので数字に関してはあまり細かいことは聞くつもりはございませんけれども、まずちょっとお伺いをさせていただきたいんですけれども、この議会で議案としては第38号ぐらいから三つぐらいか、夜間の救急診療所に関して応分の負担を少しよその市町からいただくというような議案が出てきていたかと思っております。何度かこの議会の中でもよその市町から伊勢病院に対して少しお金をいただいたらどうかというようなお話があったかと思うんですけれども、率直にこの議案の感想でも結構ですし、どのように考えているかでも結構なので御答弁をいただければと思います。

◎福井輝夫会長

どちらさんですか。

病院経営推進部長。

●西山病院経営推進部長

定住自立圏の関係で協定を結ぶということで、夜間休日診療のほうということでこちらでも承知をしておるところでございます。実態といたしまして伊勢病院といたしましても、例えば鳥羽、志摩、いわゆる市外からの救急の受入れも一定程度あるという状況の中で、そういったことがもしこれから財源としていただけるならそこはありがたいというような率直な感想でございます。以上です。

◎福井輝夫会長

野崎委員。

○野崎隆太委員

ごめんなさい、僕の聞き方が少し悪かったのかもしれませんが、この議案に関してというよりは、どちらかといえば以前から伊勢市、伊勢の病院の経営に対して少し支援をいただいたらどうかというような議論もあったと思うんですけども、それは議会の中の声でも多分何度かあったかなと思うんですけども、実際その直接病院に対する繰入れという形ではないですし支援という形でもないんですけども、方法として一つ議論をすることはできるのかなと思っていますし、それが理由としては考えている考えていない、制度としてできるできないとかも含めて、少しそういったことは考えているのかどうかだけお聞かせをいただければと思います。

◎福井輝夫会長

どちらさんですか。

経営企画課副参事。

●西井経営企画課副参事

近隣市町からの負担金の件でございますけれども、先日報道のほうで尾鷲の総合病院というところが挙がっていたかと思われます。そのところにつきましては、法律等々関連性もありますので、しっかりとその辺り調査研究をいたしまして今後対応していきたいと考えております。以上でございます。

◎福井輝夫会長

野崎委員。

○野崎隆太委員

調査研究ということで、当然近隣市町もこの伊勢病院に対しては全く思いがないというわけではないと思うので、当然なくなっては困ると思っているまちも多いはずなので、その辺りはどうやってするのがいいのかというのもいろんな形で研究をしていただければと思います。

もう一点、予算なのでちょっと投資的な経費の話をさせていただければと思います。投資的な経費というところの医師の奨学金と奨学金の返還金というのが少し項目としては

の発展につながるものだと僕は思っていますので、ぜひとも100%もしくは追加補正が出るぐらいの気持ちで進めていただければと思います。医者がそれぐらい要るかどうかというのは別にしても、ぜひともしていただければと思います。

これもう最後にしますけれども、基本的に先ほども言いましたように企業経営ですので、決算が僕は全てだと思っています。なので予算の段階であまりどうのこうのというのは言いませんけれども、基本的には財政収支計画があって予算があって、出てきたこの予算が下限ということだけは覚えておいていただければなと思います。どんな企業でもそうですけれども基本的に決算が悪かったら決算が悪いと言われてしまうので、予算に対して決算がどうかというだけの話なので、ぜひともこれからもさらなる発展と今年1年の順調な経営を期待しております。以上です。

◎福井輝夫会長

他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

他に御発言もないようでありますので、議案第9号の審査を終わります。

次に、企業会計中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【企業会計の自由討議】 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

次に、令和2年度予算全体中、当分科会関係分の自由討議を行いたいと思いますが、御発言はありませんか。

【令和2年度予算全体の自由討議】 発言なし

◎福井輝夫会長

発言もないようでありますので、自由討議を終わります。

暫時休憩します。

休憩 午前10時26分

再開 午前10時26分

◎福井輝夫会長

それでは、休憩を解き、会議を再開します。

以上で、本分科会に振り分けられました案件の審査は終わりました。委員の皆様方におかれましては、円滑な審査に御協力いただきありがとうございました。

お諮りいたします。

会長報告文の作成については、正副会長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎福井輝夫会長

御異議なしと認めます。そのように決定いたしました。

それでは、これをもって予算特別委員会教育民生分科会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉会 午前10時27分

上記署名する。

令和2年3月10日

会 長

委 員

委 員